

うまい話にご用心

利殖商法

投資を勧める電話が何度もあり、断り切れず話だけ聞くことになった。訪問してきた担当者からは「金がすぐ値上がりをしている。元本保証で年6%の利率は銀行預金よりずっと有利」などと説明されたが、海外の金の先物オプション取引を契約し、100万円を払った。翌日、担当者から「もうかつている。100万円追加すればさらにもうかる」と電話があり、言われたとおり追加した。しかし、その後「損失が出ているのですぐに300万円追加するように」と電話があり、これ以上お金も無いし、不安になったのでやめたいと申し出たところ「今やめると数万円しか返金できないし、手数料がかかる。任せとほしい」と解約に応じてくれない。

○甘い誘いにご用心

「元本保証で2倍になる」などのうまい話をうのみにしてはいけません。銀行などの金融機関以外の事業者が、元本を保証して金銭を預かることは法律で禁止されています。投資は、勉強と自己責任が必要です。仕組みが理解できない取引には、手を出さないようにしましょう。

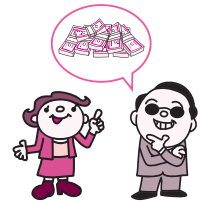
○はつきりと断りましょう

「話だけなら」と思っているも、断り切れないことが多いものです。契約するつもりがなければはつきりと断りましょう。

○一人で悩まず相談を

契約しても、期間内であれば契約を解除できるクーリング・オフ制度があります。また、期間を過ぎた場合であっても、その説明を受けた場合などは中途解約できる可能性があります。できるだけ早く消費生活相談窓口ににご相談ください。

▼問い合わせ 市民サービスグループ (☎ 3491)



人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

登別郷土文化研究会



先人の努力した功績にせまっていくなことが楽しいです

『登別郷土文化研究会』は、登別市が市制施行された年に、登別市の開拓の歴史などを明らかにするとともに、先人の功績に敬意と感謝を表し、将来への糧にするため、学校の先生が中心となり設立しました。

現在、会員は40歳代から80歳代までの52人。月1回市立図書館などで活動しています。

「会では、講師を招いての勉強会をしたり、会員同士で自分の関心の高い分野を発表したりして、知識を深めています。人によって歴史解釈が違うことがあります。自分の感情を交えず真実にせまっていくなことが楽しいです」と話すのは代表の日野安信さん。

「春と秋は市内の史跡を見学、10月には市外への研修旅行などを行い、文献だけでなく、実際に目



で見ることでも大切になっています。郷土の歴史や文化に興味のある方はいつでも参加してください」と日野さんは入会を呼び掛けていました。

会では毎年、市民文化祭で市民参加の講習会『郷土史の夕べ』の開催や、名誉会長である宮武紳一さんが広報のぼりべつに16年にわたり寄稿した『郷土史探訪・郷土史点描』を3月に出版するなど、積極的な活動をしています。

昭和57年から入会している街道重昭さんは、「会員は高齢な方が多いですが、皆さんとても好奇心が旺盛で、学習意欲に富んでいます。一芸に秀でた方ばかりなので、とても刺激になりますね」と話してくれました。

入会を希望される方は、事務局の佐々木さんまでどうぞ (☎ 5213)